

令和3年度東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ (EAAFP) 全体版ニュースレター Vol. 1

● EAAFP の「全体版ニュースレター」を発行します

EAAFP の渡り性水鳥重要生息地ネットワークに参加されている地方公共団体のご担当者をはじめとする関係者に、EAAFP の国内ネットワーク全体に関わるニュースや活動についてご紹介するため、ガンカモ類、ツル類、シギ・チドリ類の各種群コーディネーターよりお届けしているニュースレターに加えて、令和3年度から、全体版ニュースレターを年1回程度、発行することとしました。

なお、有志による EAAFP 国内ネットワーク Facebook グループでも情報交換が行われていますので、こちらもご活用ください。<https://www.facebook.com/groups/1285031465034086/>

● 「サロベツ湿原」が東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに新たに参加しました

2021年10月25日に、「サロベツ湿原」が151番目（国内では34番目）の参加地として、東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワークに参加しました。北海道の最北端に位置するサロベツ湿原には、マガン、オオヒシクイの東アジア個体群の個体数の1%以上が定期的に飛来するとともに、それらの種を含めて2万羽以上の渡り性水鳥が定期的に飛来しているため、ネットワークへの参加基準を満たしていると認められました。



・ 環境省からの報道発表：<http://www.env.go.jp/press/110132.html>

・ 北海道豊富町からのお知らせ：

<https://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/section/syoukoukankouka/ufvuj50000004yw7.html>

・ EAAFP 事務局からのお知らせとサイト紹介（ページの下部に、日本語記事有）：

<https://www.eaaflyway.net/sarobetsu-wetland-japan-new-fns/>

● 令和2年度は、国内モニタリング検討準備会を開催しました

2021年2月2～3日に、重要生息地ネットワークを活用した水鳥の渡りの動向把握及び、渡り性水鳥重要生息地ネットワーク参加地におけるモニタリングの体制強化をテーマにフライウェイ・国内モニタリング検討準備会（環境省主催、オンライン、以下準備会という）を開催しました。専門家や国内ネットワークの各種群（ガンカモ類、ツル類、シギ・チドリ類）コーディネーターに加え、各ネットワーク参加地でモニタリングに携わっている関係者14名が参加しました。



第10回 EAAFP パートナー会議（2018年12月、中国）で採択された EAAFP の戦略計画 2019-2028 では、気候変動による渡り性水鳥とその生息地への影響の把握、また、ネットワーク参加地間の連携促進などが求められています。日本ではこれまで長期間にわたってモニタリングデータが取得されており、既存のデータを用いて気候変動による生物への影響を把握できる可能性があります。そこで、各地でのモニタリングの現状を把握し、記録されたデータの活用について意見収集することを目的として、準備会を開催することとしました。

準備会の開催にあたり、まず、各参加地でのモニタリングの現状に関するアンケートを実施しました。このアンケートにより、モニタリングサイト 1000 調査以外にもさまざまな調査が行われていることを把握することができました。アンケートにご協力頂いた皆さまに感謝を申し上げます。

準備会では、アンケート結果に加え、湿地管理者・専門家の講演を通じて、各地域でのモニタリングの現状、課題、成果について把握し、共有することができました。また、ワークショップの中では、既存のモニタリングを活用してデータを収集・分析し、気候変動による影響を評価するために、各主体が果たすべき役割や必要なサポート・協力体制についても議論しました。農業従事者など地域住民、子供たちなど多様な主体を巻き込んで活動を進めることの重要性や、多くの主体を巻き込む方法について、各地での取組事例が多数共有され、活発な意見交換がなされました。

さらに、準備会での議論を受けて、モニタリングの重要性や渡り鳥のおもしろさを多くの人に知ってもらうため、有志により国内ネットワーク CEPA 作業部会準備会が設立されました。毎月オンライン会合を行い、情報交換をしています。興味のある方は、こちらの活動にも是非ご参加下さい。

- ・検討準備会の様子は、EAAFP 事務局のホームページで、より詳しく紹介しています（ページ下部に日本語記事有）。

<https://www.eaaflyway.net/preparatory-workshop-for-flyway-national-monitoring-in-japan/>

- ・国内ネットワーク CEPA 作業部会準備会：

<https://miyajimanuma.wixsite.com/anatidaetoolbox/cepawg-japan>

令和2年度国内モニタリング検討準備会の検討結果を受けて、令和3年度は、モニタリングの活用やモニタリングデータを用いた気候変動の影響把握を切り口としたネットワークでの活動について、より具体的な活動に繋げていけるように、専門家の皆さんと一緒に議論を進めてきました。検討会で議論した内容や成果については、今後も全体版ニュースレター等でご報告します。

● 5月14日は「世界渡り鳥の日」！ 2022年のテーマは「Light Pollution – 光害」

世界渡り鳥の日（5月及び10月の第二土曜日）は、渡り鳥やその生息地の保全の重要性を普及啓発する世界的キャンペーンで、環境省では、テーマを和訳したポスター（電子データ）を、毎年作成しています。イベントの開催や、「#世界渡り鳥の日」「#WorldMigratoryBirdDay」「#WMBD2022」「#フライウェイ」を付けての SNS 投稿などで、フライウェイの普及啓発にぜひご協力ください。

※WMBD は World Migratory Bird Day（世界渡り鳥の日）の略です。



2022年2月発行

発行：環境省自然環境局野生生物課

環境省業務請負者：バードライフ・インターナショナル東京